

2021年7月6日(火)

『授業の様子(理科)』

5年生は「メダカのたんじょう」という学習を行っています。メダカの食べ物となる微生物や、メダカのたまごは肉眼で観察するには少し小さいです。そこで、この単元では顕微鏡の学習も行っています。従来、顕微鏡の学習は一人ずつ操作を行っていたので、時間もかかりましたし、また、全員正しいものが見えているか確認することも困難でした。

昨今では様々な種類の顕微鏡が用意されておりますが、本校では顕微鏡の視野をiPadに投影することで、グループで観察できるようにしています。こうすることで、うまく見えないとき、スライドガラスをどちらに動かすべきなのか、ピントをどのように合わせればいいのかなど、グループで相談しながら顕微鏡を操作し、観察することができます。また、正しい観察が行えているか確認することも容易になりました。何より、子どもたちの観察への意欲が大きく向上しました。ミジンコの心臓の動きであったり、メダカのたまごの中の血液の流れであったり、毎回、授業の時間が足りなくなってしまうほど観察に集中しています。



3年生は「ゴムや風の力」という学習を行っています。ゴムの力で車を走らせると、車の走る距離は、ゴムを伸ばした長さに関係していることが分かります。風の力で帆をつけた車を走らせたときも同様です。やはり、車の走る距離は風の強さに関係しています。実験前から結果の分かりやすい単元ではありますが、子どもたちの予想通りの実験結果が出るということも、理科の学習をより深めるように感じます。

